



「凡事徹底～当たり前のことが当たり前ができる子に」

日向市立日知屋小学校 校長 富永 幸二



令和2年度より全面実施される学習指導要領が改訂されました。子どもに身につけさせたい資質・能力の一つとして、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養が挙げられている一方で、新しい学習内容としてプログラミング教育が必修化されました。さて、標題の「凡事徹底」ですが、タイヤやホイールなどの自動車関連の販売店の相談役だった鍵山秀三郎さんという方が同名の本の中で伝えている考え方で、本の副題には「平凡な非平凡に努める」とあります。当たり前のことを当たり前にするのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命やるという意味です。社会の進展に伴い、時代のニーズに応じた新しい教育活動に取り組むことは当然大切です。しかし、同じように大切なこととして将来、社会人や職業人となるための基本的なスキルであるあいさつや返事、はきものを揃えることなど、当たり前のことが当たり前に行えることを目指して、しっかり取り組んでいきます。

居心地のよい「心の拠りどころ」でありたい

日向市立富島中学校 校長 向江 修一



地域には、それぞれ独自の自然や歴史、文化、生活様式などが息づき、個性があります。これらの風土や今ある地域の姿は、先人が長い歳月の営みの中で得た業績であり、単に現状に合わないからと無下で否定し、変えるものではなく、敬意を払い、価値を認めた上で、新たに積み上げながら変わっていくものであると思っています。日向市には、日向岬をはじめとする大自然や神武天皇東征の神話のまち、ひょっとこ踊りなどの伝統や祭りがあり、その中で歌人の若山牧水、プロ野球の青木友生など多くの逸材を輩出しています。こんな魅力ある日向の地が、子供たちにとって、自分の理解者である家族や友人のような、心がほっこりする楽しかった思い出のような、いつでも居心地のよい「心の拠りどころ」であることを願っています。また、そうあることが、子供たちが将来、たとえ日向を離れようと、どこからでも応援してくれる人になってくれるものと信じ、学校、家庭、地域がこの思いを一にして、日向をキーワードにキャリア教育を展開していこうと思います。

「キャリア教育と伝統文化」

日本舞踊 絹彩の会 会主 花柳 絹彩



講話の限られた時間の中で、必ず伝統文化の重要性について話をしています。関心と認識が低いと感じているからです。日本文化は、世界に誇れる素晴らしい文化です。再認識することにより他国と自国、他者と自身、互いを尊重し自己肯定感を高めてもらう狙いからです。また、舞台上で起こる予期せぬ出来ごとの話をします。問題解決や意思決定能力を発達させる効果、それは変動する社会への適応能力、環境変化へ対処する能力に繋がると考えるからです。社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していくその過程の中で、文化と経済が共に発展することで、自己実現と心豊かな生活を送ることが出来ると伝えたいと思います。レガシーを礎に地域性豊かで多様性に富んだ文化の中で、成熟社会に自分らしく輝く日向の子どもの未来のために研鑽、奮闘して参ります。

「キャリア教育を通して」

Sweets Café SEIKADO 代表 緒方 康彦



当店では、地元の皆様にも愛され自慢してもらえるようなお店を目指しています。そのためキャリア教育を通して各学校の生徒さん達に講話をすることで、自分自身が初心に戻り常に目標を設定して仕事に取り組むように心掛けています。特に大事にしていることは時間の使い方、生徒さん達に「ライバルはどこですか?」とよく質問されますが「ライバルは時間です」と答え自分がどれだけ時間の使い方を大切にしているか…時間と戦っているか…その重要性を生徒さん達に伝えていきます。教育は「家庭教育」「学校教育」「社会教育」と大きく3つに分けられると思っています。そのどれもが重要なはずですが最近ではそれぞれのバランスが崩れ、責任のなすり合いをしているような気がします。そこで、キャリア教育を通して生徒さん達だけではなく先生や保護者も含めて話し合いや勉強会などをしていく必要があると思っています。日向市で生まれ育った子ども達が、日向市を誇りに思っ自慢していけるような教育に少しでも携わっていたらと思います。

5月21日(火) 合同研修会開催 (喜重会館)

◎教職員と「よのなか先生」情報交換会 16:40~18:00

18年度の「よのなか教室」の動画鑑賞後、「よのなか教室」の取組と事例紹介の協議を行い、各グループ協議結果を発表しました。



◎「よのなか先生」研修会 18:00~19:00

研修会開催は、今回で通算17回目となりました。

- 委嘱状の交付  
日向経済新聞の小御門さんへ福島センター長から手渡し、登録者数が210名となりました。
- 個人表彰は、税田和久さん、黒木宏二さん、山口恵子さんの3名黒木専務から代表して山本さんに手渡しました。事業所表彰は、2事業所で(株)グローバル・クリーン、自衛隊宮崎地方協力本部日向地域事務所を表彰。
- 研修会の発表は、天領うどんの田崎澄さんが「14歳のよのなか挑戦」等の取組について、延岡市役所勤務の西田優香里さんは「キャンドルナイト」の取組状況について話をされました。



◎教職員と「よのなか先生」交流会 19:10~21:10

15:30からの市教委主催のキャリア教育担当者研修会から引き続き参加された先生方も含め、68名の方々が出席。自己紹介等もあり、「日向の子供たちの未来づくり」への熱い思いで会場は溢れていました。研修会等の延べ参加者は98名でした。次回開催は、11月18日(月)予定。



5月27日(月) 新赴任教職員歓迎研修会 14:10~16:20

講話:市長 「不易流行のまちづくり～総合計画に基づく市政の実績と今年度の事業～」  
 教育長 「～日向市の進める三位一体の教育:ひょうが学びの学校～」  
 顧問 「キャリア教育が求められる背景と産官学の果たすべき役割」

日向市へ新赴任された先生方63名が出席。「日向市の魅力、良さ等」を知ってもらいました。講話終了後は、場所を移し、自己紹介等もあり、お互いの交流を深めながら話は尽きませんでした。交流会は44名の参加でした。(18:00~20:00)



十歳市長 今村教育長 福島センター長 水永顧問